

令和 6 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	15	学 校 名	静岡県立御殿場南高等学校	記 載 者	渡 辺 洋 介
------	----	-------	--------------	-------	---------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

%値は、目標値、生徒回答、保護者回答 の順

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	学校生活の様々な場面で、全体での目標共有と各自の振り返りを繰り返し行うことで、自己が向上する喜びを知ると同時に、全体としての目的を達成できるような指導を工夫する。	・南高に入学して充実した高校生活を送っている。 90%, 90.8%, 88.4% ・自ら率先して行事・活動に取り組み、他者と目標を共有し、支援できる。 80%, 77.2%, 82.1% ・県・東海・全国大会への出場	A	A	・高校生活を楽しんでいるのが、よくわかる。 ・満足している（充実感をもっている）生徒がほとんどのように見て取れる。 ・充実した学校生活を生徒が過ごしていることが、うかがえる。
イ	教育活動全体を通じて「大学進学後の社会」を意識させ、学習や進路に対する主体的な意欲・意識を向上させ、困難なことにも挑戦する姿勢や、折れない力の育成を目指す。	・将来の進路に基づき、今行うことを考えて、進路に向けて積極的に行動できる。 90%, 81.8%, 68.0% ・自ら課題を設定し、情報を収集・分析しながら、探究する態度が身についている。 90%, 91.5%, 69.0% ・苦手や困難に直面しても、最後まで取り組み続けることができる。 90%, 87.6%, 82.4%	B	A	・なぜ勉強するのか？もう一度、その意味を考えることも必要。 ・この年齢で将来を決めることは厳しいことなので、幅広く考える機会があればいいと思う。 ・将来の進路に夢を持つことは大事です。 ・保護者の立場からも、よい取り組みができていると感じる。 ・取組目標を達成するための教育がなされている。
ウ	「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭に、主体性と言語活動を重視した授業づくりと「高校生のための学びの基礎診断」等による定着度の確認・分析を行い、地域の期待に応える進路実績の向上を目指す。また、学習における ICT 機器の効果的な活用を一層推進する。	・学習の基礎・基本が定着し、基盤となる資質・能力が身についている。 95%, 92.0%, 77.2% ・全国水準を上回る学力を身につける。 ・国公立大学現役合格者数 40 名以上 ・家庭学習時間 1 日平均 2 時間以上 ・教科学習における ICT 機器の効果的活用	B	A	・一日の平均学習時間は、あまり問題ではない。課題の取り組みと自主学習との意識の違いが大切。 ・高校の授業で個別最適な学びや協働的な学びを取り入れることは、かなりハードルが高いと感じる。

様式第 5 号

エ	品格ある自律した生活態度と自制心を育成し、日常生活における挨拶の励行等、社会のマナーとモラルの徹底を図る。また、自他ともに大切に作る心身の健康や安全、防災についての意識を高める。	・校則やルールを理解し、自分で遵守するだけでなく、他人にも啓発にできる。 90%, 90.8%, 83.6% ・時間的自己管理ができ、けじめある生活を送り、生活リズムができています。 80%, 77.7%, 63.7% ・部活動後の速やかな下校、完全下校時間の厳守 ・スマホ使用時間調査等による自己管理力の育成	A	A	・スマホの使用方法について、自己管理がどこまでできるのかが重要。親の求める姿とのギャップがあるように感じる。 ・生徒の自己評価も高いが先生の自己評価も高く、すばらしい。 ・礼儀正しく、元気な挨拶で好感度は高い。 ・スマホの使い方の課題は、学校が対応すべき事柄なのか？家庭で対応すべき事柄ではないということなのか？
	健康教育、交通安全教育を推進する。 防災教育を実施する。	・健康や体力の向上に努め、健やかな心身を意識して自己を管理している。 90%, 92.0%, 80.8% ・生活や交通安全、災害に、配慮して活動できる。 90%, 94.9%, 90.3%	A	A	・本校生の意識は高いと思う。 ・自転車通学者の事故について、どのように学校が安全意識を高めていくのか？
オ	SDGs 探究学習や地域における体験活動など多様な学びを通じて、自己の成長とともに地域への貢献を実感できる活動を実施する。	・自らの意見を述べ、他人の意見と調整し、自分の意見を発展させることができる。 90%, 89.0%, 79.3% ・1 部活動 1 ボランティア（地域交流活動）	A	A	・地域を巻き込んだ活動になっていて大変良い。 ・この学びが他教科の学びに繋がれば、より良くなる。 ・生徒発表の様子を見る限り、真摯に学びに取り組んでいる。
		・文化・芸術に触れることで、視野を広げ、教養を深める。 85%, 81.8%, 62.7%	B	B	・文化や芸術に触れる機会は学校が用意することなのか、生徒自らが求めてもいいのでは？
カ	自治体・各種事業所・教育機関等との連携・協働を一層推進させ、他地域にはない魅力を持った取組を、授業・行事・部活動等の様々な場面で工夫する。	・家庭、地域との繋がりを理解し、他者と連携して社会に尽くしていこうとする。 85%, 84.8%, 70.5%	B	B	・家庭との連携はもちろんだが、他の機関（同窓会、中学校、事業所など）をもっと利用してもいいと思う。
キ	環境整備や業務改善を図りながら、生徒の公共心や教職員の意欲・組織力を向上させ、明るく活力ある学校づくりを推進する。	・公共物や施設、環境に気を配り、清掃・整理など積極的に環境を整える。 95%, 93.1%, 80.3% ・定期点検月 1 回、随時点検	B	B	・施設整備は現状維持ができていれば目標達成だと思う。

様式第 5 号

		・補習、部活動における外部人材による支援を広げる。 ・分掌・学年部の業務ファイルの作成を進め、引継を円滑化	B	B	・外部人材による支援がこれだけ行われていることはすごい。 ・補習等のための指導員派遣事業で、まだ十分でないところがあった。
--	--	---	---	---	---